

令和4年2月教育委員会会議議事録

1 開催日時及び場所

令和4年2月14日（月） 午後 4時10分～午後 17時40分
中土佐町庁舎1階 第1会議室

2 出席者

教育長	岡村 光幸
教育委員	1 番委員 濱田 貴代
	2 番委員 中沢 建夫
	3 番委員 高橋 雅人
	4 番委員 下村 麻衣子
事務局 次長	今橋 順子

3 議事録

開 会

（岡村教育長） 2月定例教育委員会をはじめます。議事内容は1ページのとおりになっています。

日程第1 職務代理の選任について

（岡村教育長） この2月13日に、高橋容子職務代理が任期満了により退任しましたので、新たに職務代理を選任したいと思います。どなたか選任の方法についてご意見ございませんか。

（中沢委員） ありますよ。順番で言うたら私になりそうな感じですけども、私自身が1年半ぐらい前に脳梗塞をして、今治療中です。濱田貴代委員を私は推薦します。濱田委員だったら、少なくともあと2年ありますからね。

（濱田委員） あと2年ですけど、高橋さんと下村さんに引き継げるように、あと2年、したら頑張ります。

（中沢委員） 申し訳ないけどよろしくお願いします。

（濱田委員） はい、頑張っていきます。

（岡村教育長） よろしいでしょうか。それでは、職務代理は濱田貴代委員ということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

（岡村教育長） 全員賛成ということで職務代理を濱田貴代委員に選任いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

日程第2 前回会議録の承認

(岡村教育長) それでは日程第2、前回会議録の承認に移りたいと思います。

新しい委員さん2名おいでますけども、前回の会議録ですので、濱田委員、それから中沢委員、何かご意見等ございましたらよろしくお願いします。

(「ないです」の声あり)

(岡村教育長) そしたら、新しい委員さんおいでますけども、前回の会議録ご承認いただけますでしょうか。

(「はい」の声あり)

(岡村教育長) ありがとうございます。では、前回会議録は承認されたものといたします。

日程第3 本会議録署名人の指名

(岡村教育長) 続きまして、日程第3、本会議録署名人の指名についてですけども、前回は、濱田委員と中沢委員でした。

そうですね、前回濱田委員と中沢委員ですが、新しい委員さんが2名入りしましたので、新旧1名ずつにしたいと思いますが、毎月1回あってペアで順番にいきます。欠席なんかの場合にちょっと順番が狂ったりしますけども、最初の回ですので、協議でいきたいと思うんですけど、どうしましょう。今日のこの回の署名人ですが。

(濱田委員) 男女別に分けますか。私と高橋さん、中沢さんと下村さんでどうでしょう。

(岡村教育長) それでは、ペアを中沢委員と下村委員、濱田委員と高橋委員。では、今回どちらにしましょう。同じように2回ともやっていただいておりますが。

(濱田委員) 中沢さん、今回お願いします。

(中沢委員) 私、今回。はい、分かりました。

(岡村教育長) そしたら、今月の会議録につきましては、中沢委員と下村委員を会議録の署名人といたします。よろしくお願いします。

日程第4 報告

(岡村教育長) 続きまして、日程第4の報告に移ります。

まず、(1)専決事項(区域外通学申請等の承認について)の報告を事務局からお願いします。

(今橋次長) 2ページをお開きください。

中土佐町立学校への区域外通学申請者ということで、表の1ですが、継続の方で、子どもさんが合計で4名ですけど、3世帯、3人の保護者の方から申請がっております。全て継続の方ですので、専決事項ということで先に承認のほうをさせていただいております。

お1人目は〇〇〇〇さんです。現〇年生、〇〇小学校の〇年生ということで、住所地は〇

○ですので、本来であれば○○小学校ということですが、ご事情で町外に引っ越され、その以前から通学している○○小学校に来年度も通学をしたいという申請の申出があります。同じく現○年生、来年は○年生になりますけれど、○○○○さんですが、この方もご兄弟ですので、同じ申請となっております。

中学校のほうですけれど、現在○○中学校○年生の○○○○さん、この方もこちらの中学校にもともと通っていて○○中学校に転校したけれど、○○中学校に通いたいということで、ご住所のほうは○○ですけれど、この方も引き続いての就学の申請がありました。

もう一人は、去年の後半からですけれど、○○に引っ越されておりますが、引き続いて○学校のほうに通学をしたいということで、○○○○さん、継続での申請となっております。

次の2番目のほうですけれど、こちらの方は逆に、○○に住所があるけれど、家庭の事情で○○が近くにいらっしゃる○○中学校に継続して通学をしたいという申し立てがあります。この方も継続ですので、専決事項とさせていただきます。

最後が町内の学校ですが、学区外の申請、この方は新規となっております。現在○○学校のほうに通学をしている○年生、○○○○ですが、4月から○○に保護者の方のお仕事の都合上の引っ越し予定ということで、本来は就学指定ははまだ住所が○○ですから、○○に通うところですが、引っ越しが完了すれば○○のほうになるので、4月からはさきに○○小学校の方へ通わせてほしいという学区外の通学の申請がありました。町内での学区外ということですので、承認して問題ないということで専決承認しました。先の区域外の申請についての他市町村との協議等への承認をし、専決事項としておりますので、合わせて、中土佐町教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則第3条第2項に規定に基づいて報告をさせていただくものです。

以上です。

(岡村教育長) 今事務局から説明ありましたが、専決事項となっておりますので、委員会の中での承認ということではなく、専決させていただきましたので報告ということになります。よろしいでしょうか。ご質問等大丈夫ですか。

(「はい」の声あり)

(岡村教育長) 続いて、行事等報告と行事等予定のほうを私のほうから説明をさせていただきます。

3ページをご覧ください。

まず2の行事等報告ですけれども、1月19日に大野見地区の小中連携教育研修会がありました。それから、1月25日に補導員・センターママの会が夜の6時から予定していましたが、コロナの感染拡大に伴いまして中止とさせていただきます。1月28日、高岡地区市町村教育委員会連合会の理事会、これは集合での理事会が中止になってオンラインでの会議になりました。この庁舎で私と高橋職務代理で参加をしました。中身については、令和4年度の高岡地教連の主な役員人事とか行事計画についてです。

2月3日、上ノ加江中学校の活用について、企業による地元説明会がこれも予定されてい

たんですけれども、同じくコロナの感染拡大により延期となっております。2月4日、中土佐町児童会・生徒会サミットを、町内小・中学校5校をオンラインでつないで行いました。須崎よさこいケーブルテレビが取材に来ておりますので、16日の夜のニュースで放映されて、あとまた15分間ぐらいに編集したものを繰り返しケーブルテレビで放送する予定となっております。2月7日、町議会の2月臨時会がありました。教育委員会のほうとしては大野見保育所の工事の追加による予算の変更についてが議題となりましたが、可決いただきましたので、3月の早い段階での完成を予定しています。それから2月11、12日に中学生の招待野球大会を予定しておりましたが、それもコロナの感染拡大のため中止となっております。それから本日、東京を拠点に仕事している劇団「風」の公演会を予定しておりましたが、これも同じくコロナの関係で中止となっております。そして午後、本日のこの2月の定例教育委員会というふうになっています。

3番、行事予定ですけども、2月15日、あす高岡地教連の教育支援部会、この地教連の部会が3つありまして、学校教育部会、教育支援部会、人権社会教育部会という3つですけども、それぞれ教育委員さんはどれかの部会に入ることになっておりますので、また後ほどどの部会に属するかお願いしたいと思います。それから、2月16日、町人教の集約大会が予定されておりましたが、これも中止となっております。集約大会用の冊子をまたお手元へ届けたいと思います。よろしくお願いします。

3月2日、3月の定例教育委員会、この会です、これを3月2日に予定しております。よろしくお願いします。3月7日、月曜日、町議会の3月定例会が開会します。3月18日までを予定しております。またここへ閉会と書いていますけども、閉会ではなくて通年議会になっておりますので、また議題等あれば町議会が開かれるということになります。3月12日の土曜日、町内の中学校の卒業式、中学校は、大野見中と久礼中の2校だけになりましたけども、予定しています。あわせてお話をさせていただくと、小学校、中学校全部で5校です。教育委員が全部で5名ですので、卒業式と入学式、1人1校受け持っていただくとありがたいと思います。もちろん仕事はどうしても都合がつかない場合には、自分のほうとかあるいは誰かに2回行ってもらう等で対応したいと思います。これもまた後ほど議題に入っておりますので、役割分担をしたいと思います。

それから、3月12日、14日、大野見保育所をおかまい保育にして、ここで引っ越し作業をしたいと考えています。現在、保健福祉センターを仮園舎にし、行っていますので、正式にここで引っ越しということになります。おそらく予定どおりにいけると思っています。

このときにこどもセンターの引っ越しもあるんですか、それもこの頃やったですね。

(今橋次長) 17日を予定しています。

(岡村教育長) それから、3月15日が大野見保育所新園舎スタートになります。3月23日、久礼小学校、上ノ加江小学校の卒業式、それから24日、大野見小学校の卒業式と町内小中学校の修了式になっています。

4月1日、定例教育委員会を予定しています。一応13時30分からで、その後町内の管

理職、校長先生、教頭先生それから保育所長、そして我々教育委員と教育研修所の所長も入りますけども、合同の会を予定しています。ここで本日提示します中土佐町教育行政方針を私のほうから説明するようになっていきます。コロナの感染状況によりましては、リモートになる可能性もないことはないんですが、人数が少ないので、ここの2部屋をつないでこの場所で行いたいと考えています。それから4月4日、教職員研修を9時から、これはリモートで行いたいと思います。私のほうで小・中学校の先生方にお話することになります。

以上が行事予定です。

下に表がありますが、この表を埋めていきたいと思っています。教育委員会のところで、中沢委員は上ノ加江小学校、23日が卒業式ですのでぜひお願いします。

(中沢委員) はい、分かりました。

(岡村教育長) あと久礼が小・中が1名ずつ、大野見が1名ずつで、どっちかということですけど。どうしましょう。

(下村委員) できたら土曜日の久礼中学校に行かせていただきたいです。

(岡村教育長) そのほうがありがたいです。久礼小が濱田委員、久礼中が下村委員ということで。大野見どうしましょうか。都合のいいほうで。

(高橋委員) できればですけど、中学校は土曜日ですね。

(岡村教育長) 土曜日です。

(高橋委員) 私が中学校、土曜日のほうだと、教育長は。

(岡村教育長) 小学校。

(高橋委員) 小学校のほうへ私もちょっと参加したいとかいうたら2人になるんで。

(岡村教育長) 全然構いませんが、コロナ感染予防対策で一応、町長部局1名と教育委員会部局1名ということで。

(高橋委員) じゃ、私12日の中学校に。

(岡村教育長) では12日に高橋委員。そしたら24日は私のほうで。

なお、途中で都合がつかなくなったりしたら、またご連絡いただけたら、構いません。それで、これも感染の状況によるんですけども、教育委員会の告示または挨拶という形で行っていただかないといけないんですけど、昨年と一昨年は挨拶なしでメッセージを掲示するというので、時間短縮のためにやっていますので、またそういう形になるかもしれません。役場のほうはほぼ町長または副町長、町長も副町長も駄目の場合には総務課長という形になります。

そしたら2番と3番、よろしいでしょうか。ご質問等はございませんか。

(濱田委員) 4月4日の教職員研修会は、今まで教育委員は出ていたんですけど、今年は。

(岡村教育長) ちょっと悩んでいるんです。リモートになりましたので、もしご挨拶とか自己紹介みたいな形にはなろうと思うんですが、教育行政方針そのものは1日の校長教頭、管理職と所長の会議のときに私が説明する内容とほぼほぼ一緒です。管理職向けと一般の教職員向けで若干違うんですけど、自己紹介とかの挨拶の部分だけご参加いただくとか、い

ずれにしてもお集まりいただいてもここでリモートで、タブレットに向かって挨拶するような形にはなろうかとも思います。また詳細が決まりましたらご連絡させていただきたいと思います。

なお、ちょっと余談ですけども、例年管理職研修の後に懇親会を、歓迎会とか、3月には送別会もやっていたんですけど、現状ではちょっと厳しい状況です。劇的に改善されれば、また次回か、また前もってご連絡しますが、今のところ懇親会はなしの方向でいっていますので、ご理解をお願いします。

それでは、報告を終わりたいと思います。

日程第5 議案

(岡村教育長) 議案第1号 令和4年3月中土佐町議会定例会上程の令和3年度一般会計教育行政補正予算案についてを議題とします。事務局、説明をお願いします。

(今橋次長) 議案は4ページをお開きください。

こちらは今度の3月の議会に町長が提案をする予算、その中の教育行政予算に関して意見があるかないかということをお諮りをする中身になります。資料は別にとじている厚くないほうです。これが町の予算の要求書になっていまして、この3月の議会は、基本的には今年度実施見込みがないものとか不用になった金額を全部減額をするというのが主なところなんです。ときによって増額補正をしないといけない予算というのがありますので、そこだけの説明をさせていただきたいと思います。不用になっているものについては、割愛をさせていただきます。

新しい委員さんは分かりにくいかなと思うんですけど、この予算書の枠の左のほうに一般会計とあって、その下に総務費、総務管理費、地方創生臨時交付金事業費、そのまたその下に学校臨時対策事業費、これが款項目細目となっています。それぞれ目ごとに章立てをされています。コロナの関係で臨時の交付金について事業を組み立てている事業が幾つかあって、その中の19細目めということになるんですけど、学校関連のコロナ感染予防に関する消耗品だったりとか備品というものを予算化するものです。これは国の補正が今年になって、予算化されたことに伴うものです。今からですと、今年度というのは執行が困難ですので、予算化はしますが、この金額をそのまま新年度予算に繰り越していきます。全額繰越しということです。予算化だけ3年度に250万、200万、右のほうに金額がありますけれど、これは1校90万が上限額となっていますので、合計額450万、それを消耗品と備品へ振り分けた形になっております。概算での予算化という内容になっています。

次は、ちょっとページ飛んでいただいて4ページ、右の下のほうに37分の4とかいう形でページを打っておりますけれど、4ページのほうも左上の細目を見ていただくと、保育所感染症対策事業費ということで、こちらについては今年度執行しているものですので、議決後予算を振り替える予定にしていますが、各保育園で感染予防対策に必要な消耗品についての予算化をこの3月議会でするものです。

次、12ページのほうを開いていただくと、中学校総務費の中で、マイナスでなくてプラスになっているものが13万4,200円ありますけれど、これはこの3年度の当初のときにデータの取込み上、手落ちがあり、本来予算化をすべきところが抜け落ちており増額をさせていただくものです。これは事務的なミスによっての増額となっております。

次が33ページです。こちらのほうは児童福祉費の上ノ加江保育所運営費ということで、表の左のほうを見ていただくと需用費というのがあって、その下に光熱水費、その下に賄材料費というふうになっています。これは保育園の施設の光熱水費が、実績見込みで必要となるであろう額が年度末までに少し不足することが予想されるということで、16万6,600円の増額をするものと、賄材料費が当初の見込みよりも18万5,655円程度足りないということで、これは給食の原材料です。当初に当然見込をしているわけですが、原材料費の高騰の部分も相まっており、見込みとして少し不足が見込まれるということで、増額の補正の要求をするものです。

そのほかについては、減額では、今年度執行の見込みがないもの、例えば社会教育とかでいうと運動会とかできなかったものなどが、マイナスという形になっております。そこについては割愛をさせていただきます。3月補正については、先ほどお伝えしました項目についての増額の要求をするということについて、ご意見について、規則の中で教育委員会の議決を求めるというふうになっておりますので、委員さんのご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

以上です。

(岡村教育長) 3月中土佐町議会定例会上程の令和3年度一般会計教育行政補正予算案についての説明でした。

何かすぐご質問はみたいなことでもなかなか難しいとは思いますが、今説明したとおり、3月議会に提案する予定になっております。

(高橋委員) 1点内容についてですが、この事務的な手続で何かやったのかな、中学校の廃薬品処理手数料、これは突発的にこういうことが出てくることですか？予算化ができていたかないかに関係なく、こういう処理費用というものは。

(今橋次長) 何年かに一度はこういう形で。

(高橋委員) 定期的にこうやってやるんですか。

(今橋次長) はい。専門の業者でないとできないということで。どうしても実験などで残っていくものもありますので。

(高橋委員) それを周期的に替えていくということですね。

(今橋次長) はい。

(岡村教育長) ほかが質問等ございませんか。

それでは、この議案第1号、承認をしていただけますでしょうか。

(「はい」の声あり)

(岡村教育長) 全員承認ということで、議案第1号は原案どおり承認いたしました。

続いて議案第2 令和4年3月中土佐町議会上程の令和4年度一般会計教育行政当初予算案についてを議題といたします。事務局、提案をお願いします。

(今橋次長) 議案書は5ページのほうをお開きください。

資料のほうはもう1冊の、とても厚い要求書になっております。これが4年度、新年度の教育委員会の管轄する予算について、議会に対して承認を求めていく中身になります。おふたりの新しい委員さんもいらっしゃいます。概要的なことを少し説明をさせていただいて、あと今年度新規の、新しく要求しているものについて説明を順番に、先ほどの款項目に従ってさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

最初が、児童福祉費ということで、これは保育所や子育てに関するものの、各保育所ごとの管理費以外、総務的な部分です。それとこの要求書の中には私たち職員の給与というのは入っていません。会計年度職員や委託や謝金として支払いをしている人とかの人件費は入っていますが、正規の職員の給料・人件費は含んでいません。それは総務のほうで予算化をしています。

児童福祉総務費というところの枠の真ん中あたりを見ていただくと、合計の金額として304万8,000円合計額という形になっています。昨年と比較をすると、上のほうの表で増減額というところがありますけれど、大きくマイナスの減額という形になっていますが、今度、こどもセンターが旧の久礼保育所の跡にできるんですね。こどもセンターの中に子育て支援センターが含まれていくという予定になっています。ですので、そこに係る会計年度の人件費関連がこどもセンターの新しい目のほうへ移っていきます。ここの説明している表の右端のところを見ていただくと、一番最初のところに委員報酬とかあるわけですが、結構ゼロというものが1ページ目も2ページ目もあります。これらの項目である子育て支援センター関係また事務補助員とか、そういった者がこどもセンターへ移っていくことで金額が減額になっています。金額が右のほうがゼロ、ゼロというふうになっているのは、今年度と比較してのもので、今年度あって来年度ないものについてはゼロというようは表示になっておりますのでご理解ください。

ここは保育の事務に関するような総務的なことですので、新規にあるものはございません。児童福祉総務費というのは、保育に関しての総務的な内容ということでご理解いただければと思います。

次、6ページのほうに開いていただければと思います。6ページのほうの目は小草ふれあい公園管理費となっています。これは小草にあるパークゴルフ場です。その管理ということで、ここの金額としては合計額が958万5,000円と。管理するのにこれくらいの費用がかかっていると理解していただければと思います。この見方としては、合計のところは9,585となっていて、その上のほうに使用料とかレンタル料とかありますけれど、これが財源となる歳入です。内訳として、使用料としては202万5,000円を見込んでいます。レンタル料としては22万5,000円を見込んでいます。自動販売機とかの使用料ということで11万5,000円を見込んでいます。足りないほかのところを一般財源、町の

一般の財源で722万円を見込んでいます。合計が958万5,000円です。こういう見方になりますので、このほかについてもこういった形で見ていただければと思います。

次に、9ページを開いてください。こちらのほうが教育委員会費となっております。これが皆さんの教育委員会を運営していくに当たっての費用となっております。委員さんの報酬であったりとか費用弁償、旅費の部分であったりとかです。

次のページ、10ページのほうを1枚めくっていただきますと、真ん中に委託料というのがあって、会議録作成委託料というのがあります。ここの録音しているものを業者のほうにデータで送ると、それが文字になって返ってきます。年間大体このくらいの金額で収まる見込みとなっております。

次の11ページは事務局費ということで、教育委員会のこちらのほうは事務局にいる補助の会計年度任用職員や研究所の所長などの人件費を含んでの費用となっております。ここの総額としては1,596万4,000円となっております。先ほどの財源、歳入のところですが、ここに充てることができる補助金とか負担金とか、そういったものがここに細かく上がってきているということになります。

その次の19ページを開いていただくと、目では小中連携教育推進事業費ということになっています。こちらは県のアクションプランという事業を活用しての中土佐検定であったり学校での研修などの取り組みを行っています。こちらの金額としては合計で771万9,000円ということになります。

次が、23ページ、目では教育支援事業費です。こちらのほうは特別支援教育支援員を、久礼小学校であれば4名、上ノ加江小学校で1名、久礼中学校で1名の支援員の方を町で雇用しています。その方の人件費が、ここの細目での主な内容になっています。あと久礼中学校のほうには不登校対応の支援員ということで、会計年度任用職員の方の人件費をこちらのほうで支出を予定しています。ここの金額で1,210万6,000円の見込みとなっております。

その次、25ページは通学対策費になっております。これについてはいろいろなものが含まれています。大野見もしくは矢井賀から久礼中学校へ来るスクールバスの運行費用、路線バスを使用した場合の運搬料の補填という形で乗車券分を支出している部分、それと、町内の中高生については、遠距離通学の生徒たちにパス券を交付をしていますので、その分の補助金という形で含まれています。

次が、30ページは市町村情報基盤整備事業費で、これはICT化に関連するものになっています。新年度は家庭での学習ができるような形の整備等を進めていくようになっておりますが、そこに関してはコロナ関連の臨時交付金を充てることができる予定になっております。順調に進めば、2学期ぐらいには家庭に持ち帰っての学習等も順次可能になっていきます。全員が一斉にということにはまだならないですが、そういった関連予算です。

次が33ページです。こちらのほうは小学校総務費ということで、全体に係る小学校に必要な部分の人件費であったりとか管理費であったりの金額となっております。こちらのほう

は合計で2,619万5,000円となっています。この中で、39ページを見ていただくと、扶助費というのが真ん中あたりにありますけれど、就学援助費ということで、一定所得金額以下のご家庭についての就学の援助ということで、見込みとしてですけれど、久礼小学校でいくと、来年度については三十数名で見込みを立てております。上ノ加江小学校でいくと、1年生と2年生以上を含めて6名の見込み、大野見小学校については5名の見込みです。2年生以上については恐らく継続というところは予測ができるんですけれども、新1年生については申請が上がってこないと分からないところがありますので、あくまで見込みというところで、金額としては約450万程度の就学援助費を見込んでいます。

続いて41ページです。こちらが中学校総務費です。先ほどの小学校総務費に対して、中学校に関する総務費となっております。こちらが就学援助の部分を見ていただくと、47ページになりますが、久礼中学校であると、合計で28人程度の見込みを立てています。大野見中学校で2人を見込みとなっています。町内の子どもに対してですので、町外の中学校に通っている子どももいますので、その方も含んでの金額となっています。こちらのほうの金額としては375万5,000円を見込みとしています。

次49ページです。ここからは社会教育総務費となっております。社会教育総務費の中で新規な部分としては、53ページの下の方ですけれど、委託料の中に【ふるさと】という枠組みで、ふるさと教育絵本製作300部となっています。中土佐の昔話という文集がありますが、その中から抜粋して各地域の昔からのお話を絵本化した上で、保育園児等にお配りをし、親子の読書時間等、また地域のことを知っていただき記憶に残る読み聞かせの取組をしていただくということで、制作を行う予定としています。

その上のほうに同じ【ふるさと】ということで、ふるさと講座委託料ということで20万という形になっておりますが、これについても文化的景観についての理解促進啓発ということで、職員また地域の方向けの講座の予定をしているところです。

(下村委員) この社会教育費というのは、大体対象者というのは高校生以上というようなニーズですか。

(今橋次長) そうですね。そう思っていていただいて構わないと思います。

次が、56ページ補導センター運営費ということで、今、教育委員会の中に補導センターという形で位置づいておりますが、こどもセンターができたときには、こどもセンターのほうに補導センターの職員は移っていく形にはなりますが、予算上は教育委員会のほうに残っていきます。補導センターというのは、高知県の規定上、所管のトップが教育長と位置づいており、こどもセンターの管轄へは移っていけないことになっています。ただ、業務としてはこどもセンターと連携をとってやっていただくほうがいいということで、勤務地はこどもセンターとしていただくということになります。

次は59ページ、外国青年招致事業、これは各学校に行っているALT、今キープという青年が来ていますが、その方の人件費となっております。

その次の61ページ公民館費ということで、これは上ノ加江にあります公民館に関する

人件費、管理費です。

その次が67ページ人権啓発費、鎌田地区にある人権啓発センターで行っている事業の人件費と管理費で、ここの金額がちょっと大きくなっています。ページで言いますと73ページです。工事請負費で、コロナ臨時交付金を活用してのエアコンの設置、その下のほうが屋根の改修工事です。これは町の単独の費用になりますけれど、公共施設長寿命化計画の一環として点検の結果、屋根がはがれているということが本年度判明し、そのやり替えを行う予定としています。費用としては約1,000万の費用を見込んでいるところです。

その次が75ページ青年の家費ということで、これは大野見にある青年の家の人件費、管理費となっております。

次は82ページ美術館費です。美術館費は、館長と学芸員、また受付の事務の方の人件費と管理費となっております。

次が88ページになります。美術館の隣の施設、図書室のある建物ですね、そこが文化館になっています。図書室の司書の方また補助の方、そういった人件費と管理費、また図書を購入するための費用です。図書の場合だと91ページのほうになりますけれど、図書というのは費目で言うと備品になります。備品の中で図書購入費ということで年間80万円という形で、毎月今月の新しい本というような形でお知らせもしているかと思いますが、定期的に購入をしていっております。

次のページが文化財保護事業費ということで、大野見にある四万十民俗館の管理費はそこは若干少ない金額ではありますが、そのほか文化財の管理のための費用、そういったものが文化財保護事業費となっています。

次の95ページのほうは文化的景観保護推進事業費と。こちらのほうが文化財と文化的景観と分かれておりますので、こちらのほうはその景観区域についての現状変更等を行う場合に、整備委員会にご審議いただいて、どういった形で残していけるのか、生かしていけるのかということをお諮りもしていくようになっていきます。来年度については計画そのものの見直しについても含んだ形の予算となっているところです。

次が98ページになります。民俗文化財調査事業費ということで、表の真ん中あたり左のほうにあります。久礼八幡宮御神穀祭調査指導委員会ということで、久礼八の御神穀祭についての調査が来年度で4年目になります。これは文化庁のほうからの記録選定ということで、一定の補助金も頂きながら調査を行っているところです。コロナのこともあって、当初3年で終わるはずが終われなくて、4年度に報告書に仕上げて、一旦はピリオドとし、そして今後の活動へつなげていくことになります。

次が、文化財に関しては101ページに地域おこし協力隊費ということで、文化財に関しての地域おこし協力隊の応募を新年度も行いたいと考えております。今年度着任していましたが、途中で退任をされましたので、今新たにホームページ等で募集をしている状況です。

次が104ページ次世代育成推進事業費で、この中身については、放課後の子どもの居場所についての費用が含まれております。久礼地区であればボニートという学童保育があり

ますが、大野見ではいちごくらぶという名称ですが、そちらのほうは放課後子ども教室というふうに、財源となる事業名称・内容が違っております。学童保育と放課後子ども教室という、名称自体が違ってきます。上ノ加江でも、放課後子ども教室を開催していますが、委託方式ではなく直営方式で週2日の開設を行っています。ここにあるのは久礼と大野見の放課後の居場所ということでの費用になっています。合計金額で1,303万5,000円となっています。

次のページの106ページ保健体育総務費です。スポーツ推進委員さんの報酬であったり、社会体育に関しての細かい大会のための費用や小学生対象に行っているシーズンスポーツクラブ事業などの予算がこちらにあります。他に、上ノ加江のスポーツ文化センター以外の町立の体育館の管理費等です。大野見地区にある体育館、また久礼分校であったりとか笹場体育館であったりとか、そういった施設の管理費がこちらに入っております。

次が113ページ、こちらは保健体育総務分野でも地域おこし協力隊を募集をしたいということでそのための予算となっています。これは主に上ノ加江のスポーツ文化センターの2階のトレーニングルームで、今、カラダづくり事業という形でトレーニングを週1回ですけれども行っています。そういった体づくり、運動習慣を持つ人をつくっていくということの協力をいただけないかということで、地域おこし協力隊の募集をするものです。委員会としては、できれば多くの方がコンスタントに使って、トレーニングルームが夕方とか休日には常時開いているような、そういった環境に持っていければと考えています。今は必要なときに鍵を渡して開けて入っていただく状況なので、使い勝手が良くないです。使う方が増えていけば可能かなというふうに考えています。

次の117ページがスポーツ文化センターということで、こちらのほうが先ほどの上ノ加江のスポーツ文化センターの管理費になっております。

次の120ページは、学校給食センター費ということで、小・中学校の給食について、こちらのほうで調理するための費用となっています。合計金額としては5,811万7,000円ということで、調理業務は委託をしていますので、委託の費用が2,779万4,000円、この総額の予算のうちのほぼ半分が委託費というふうに考えていただければと思います。あと主なものは、作るための材料費として必要なものがこちらのほうの予算となっています。

その次のページ、126ページですが、ここからがそれぞれの保育所ごとの予算で、久礼保育所の運営の費用、133ページのほうが上ノ加江の保育所の運営費用、その次が大野見保育所の運営費用ということで、規模的には同じような少ない小さな保育園ではあるんですけど、大野見保育所のほうが総額の費用として1,000万というふうになっていて、上ノ加江保育所のほうは820万という合計金額になっていますけれども、エアコンをリースで使用していることで、大野見保育所のほうが合計金額が多くなっています。その他の内容としての人件費や経常経費的には遜色はないところですけど、もともとの施設の設置方法がちょっと違いますので、費用の差ができていますと理解をしていただければと思います。

す。

その後は、それぞれ小学校の管理費、中学校の管理費というふうになっていきます。大体経常経費的なものですので、割愛をさせていただきたいと思いますが、150ページを開いていただきますと、先ほど前段で町長がおみえになっていた中で、久礼小学校の改修の話がありましたけれど、4年度に改修をするための設計委託を行う予定です。税込みでの予算としては2,134万円を見込みとしています。ただ、恐らくプロポーザルでやっていきますので、あくまで予算としての設計金額となります。今年度、設計をして、その次の年から一定額の工事費が入ってくるという形になります。改修についてはまた委員さんのいろんな方面からのご意見等、またよろしくお願ひしたいと思います。

あと、145ページのほうに行きますと、今度は久礼小学校の管理費ということで、各学校の予算は管理費と振興費と二つに分かれています。管理費のほうが施設とかそういった人件費に関するもので、振興費というのが教育内容の中身に関する予算というふうに理解をしていただければと考えています。振興費の備品に児童用とか生徒用という形で、各学校図書というのが毎年一定の金額の予算化をしているところです。保育園も同様です。あとその年々で新たに必要になってくる備品とかいうものがこの中に予算として含まれていています。

小中学校のことについては、先ほどの久礼小学校の改修のための設計費以外は、大きくは変わりがないので、説明を割愛させていただきたいと思います。また詳しく見ていただければと思います。

走り走りの説明で申し訳ないですが、以上で新年度の予算の内容についての説明とさせていただいて、この内容で3月議会に提案をすることについて、ご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。こちらも規則の規定に基づいて教育委員会の議決を求めるものです。よろしくお願いいたします。

(岡村教育長) ものすごい量を概要ということで説明をしましたけども、なかなかすぐ質問は難しいかもしれませんが、現段階で何かご質問等ございますか。

(下村委員) 現在、地域おこし協力隊の方は何名いらっしゃるんですか。

(今橋次長) 町内全体ですよね。大野見の七面鳥関係に1人、あと大正町の商店街の関係で1人女性の方がいて、矢井賀のほうに海底にお酒を沈めた人が1人、あと久礼漁協と商工会関連に一人ずつで合計5人。今私の中で分かっている範囲ですが。

(下村委員) 募集自体はこういう教育委員の中で予算化はするけれど、その以後の活動については。

(今橋次長) その関係する業務ですよね。教育委員会では現段階は地域おこし協力隊はゼロです。今言ったのはまちづくり課だったりとか農林水産課が募集をした地域おこし協力隊です。教育委員会は文化財で来てほしいということで来てもらっていたんですけど、ちょっと一身上の都合で途中で今辞められています。

募集し着任すると、それぞれの担当課が基本的には管轄課となり、今どんな様子か一定の

報告を受けたり相談を受けたりを担当課がやっていくという形です。よろしいでしょうか。

(岡村教育長) では、議決についてよろしいでしょうか。

議案第2、原案どおり議決することよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

(今橋次長) ありがとうございます。

それでは議案第2は原案どおり議決されました。

日程第6 協議

(岡村教育長) 日程第6につきましてですけども、まず1番の令和4年度教育行政方針ですが、これは別冊で案としてあります。これを今から説明するのは難しいですけども、一旦目を通していただいて、3月2日の定例教育委員会でご意見をお伺いしたいと思いますので、一度お目を通していただけたらというふうに思います。若干加筆をして、昨年よりはちょっと変えています。中身につきましても、またご意見もいただきたいですけども、基本方針の頭を書いてあるとおり、今年の1月中土佐町の人口が6,270人になっているんです。ものすごく減っています。年間150人から160人ずつ減っているということになっています。高齢化率も1年前が47%を超えて、今年は48.5%、48%を超えています。そういった中で、町長が言ったようにこの少子高齢化の中で学校教育というか教育行政、社会教育も含めた教育行政をどうやって進めていくかというのは大きな課題だというふうに思います。それとプラスコロナとICT関係、パソコンというか、そういった関係を中に盛り込んでいます。一度お目を通しておいってください。

それから、協議の2番、令和4年度教職員人事につきましては、この後行います。中身は秘密会議にしますので、よろしくお願いします。

日程第7 その他

(岡村教育長) 先に日程第7のその他に移りたいと思いますけども、いつもここで次回の日程を決めていましたけど、3月2日ということですので。

(今橋次長) 6ページのほうに、一応最後のところに記載をしています。

(岡村教育長) この冊子の最後に、3月2日15時から16時半、場所がこの3階になります。ここが今1階です。3階の防災対策室というところになりますので、よろしくお願いします。どうしても都合がつかないときは、私か次長のほうへ連絡をいただければと思います。

(今橋次長) 1点構いませんか。3月はもう2日ということをお願いしているんですけど、4月のほうです。行事予定のほうで教育長のほうからお話があったかと思うんですけど、4月1日、年度の頭で皆さんご多用だと思いますけれど、1時半でご都合大丈夫ですか、構いませんか。

(岡村教育長) この日は午後が定例のこの教育委員会で協議をして、その後管理職合同で

の合同研修会ですので、午後いっぱい時間となりますので、よろしくお願いいたします。

（今橋次長） 合同会も2時半からですから4時半かなと思います。長丁場ですがよろしくお願いいたします。

（岡村教育長） そのほか、委員さんのほうから何かございますか。

（濱田委員） 図書室の体制のことについてです。司書の資格がある人に、学校図書へ週に1回とか2回とか、行ける体制は組めないでしょうかね。必ずしも8時半から5時まで2人体制でおる必要はないのでは。そんなにどんどん貸出しに来てるといってもないし、それだったら週一、二回、学校図書館へ出向けないでしょうか。

（下村委員） 学校の図書館に今週のお勧めとかそういうのを置いたりとか、何かもっと新しいものを見せられるような取組があればいいですね。この間小学校で、何か月かの間に何冊読もうという取組があったら、すごいやはりその期間頑張って読むんです。そういうふうに外から刺激的にやってあげると、子どもも本を読もうという意欲になる。今インターネット、ゲームというのが子どもの生活をすごく占めるけど、できるだけ読書力とか国語力を上げるのは、実際本を読むのっていいんだろうとは思いますが。

（岡村教育長） 教育行政方針の中にも読書の推進は入れているみたいやけど。それから子どもの自主性とか子どもの中の組織力とか、そういった対応力みたいなのを高めるために、図書委員会というのもやっています。そこで結構子どもも積極的にやってくれてるし、そういったのを学校の先生が基本的に指導しておりますが、それを図書室の司書の方とかやると、またちょっと違った視点からおもしろいアイデアが出るかもしれないですね。

（濱田委員） せっかく司書の資格持ってやってくれるのだったら、週に一、二回は学校図書へ来て、本の内容というのか、そんなほうも指導してもらえたら一番いいと思う。すごく久礼小学校低学年はいっぱい借りにくる、朝。私も毎週行きゆうけどね、低学年すごいみんな借りにきます。高学年はちょっと場所的にも今一つで、ちょっと少ないですけど。

（下村委員） 冊数も少ないですよ。

（濱田委員） いろんな本がある、いろんな本があるけど、やっぱりちょっと、今は支援員の先生が選んでくれて注文してくれたり、先生、担任らと話をしながら本を選んでくれますが、せっかく図書室が2人体制でいるのだったら考えていただきたい。

（岡村教育長） 分かりました。当初の目的からいうと、当初の目的は開室時間から閉室時間を同じにしようということで、そのためには1人では駄目なので2人という。それ以上の発想が確かになかったのは、ある意味反省材料かもしれないですけど、そういうアイデアをいただいたので、また検討してみたいと思います。

（濱田委員） あと、町の図書室よりも久礼小学校の図書室のほうが子どもはたくさん借りにきています。結構低学年の本がぼろぼろになるぐらい貸出している本もあります。なかなか小学校低学年でこの図書室へ借りにいくという人が少ない。なので、小学校の図書室の内容を高めたらすごくいいなと思います。

（岡村教育長） 小学校せっかく低学年・高学年に分かれているので、図書室が。

(濱田委員) はい。

閉 会

(岡村教育長) そのほかないようでしたら、本日の定例教育委員会を閉じたいと思います。
どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

上記は会議の次第を記したものであり、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年 3 月 2 日

教育長	岡村 光幸
委 員	中 沢 建夫
委 員	下村 麻衣子